

資料4

報道発表資料
平成23年6月7日
気象庁第120回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、第118回火山噴火予知連絡会（平成23年2月15日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成23年2月15日～6月7日）、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、桜島及び諏訪之瀬島で噴火が発生しました。また、三宅島ではやや多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上3,000mで、大きな噴石が最大4合目まで達しました。また、火砕流が2回発生し、それぞれ500mと800m流下しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続しますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、中岳第一火口で5月15日と16日にごく小規模な噴火が発生し、その後、ごく小規模な噴火が継続しました。中岳第一火口の火山活動は高まっていると考えられ、引き続き、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、引き続き、火口から概ね1kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 天頂山〔噴火予報（平常）〕

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ② **アトサヌプリ** [噴火予報(平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ③ **雄阿寒岳** [噴火予報(平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ④ **雌阿寒岳** [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑤ **丸山** [噴火予報(平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。なお、東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、丸山周辺を震源とする地震が一時的に増加しましたが、4月以降活動は低下しました。
- ⑥ **大雪山** [噴火予報(平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑦ **十勝岳** [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・ 地震活動、噴煙活動ともに概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 - ・ 2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は、2009年以降次第に鈍化しながら現在も続いており、しばらくは活動の推移に注意が必要です。
- ⑧ **樽前山** [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・ 樽前山の噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地震活動、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
 - ・ 樽前山のA火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。
 - ・ 風不死岳では、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ **倶多楽** [噴火予報(平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ **有珠山** [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑪ **北海道駒ヶ岳** [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、主に山頂の南南西約10kmを震源とする地震が若干多い状況となりましたが、その後地震活動は収まっています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、主に松川付近を震源とする地震が若干多い状況となりましたが、その後地震活動は収まっています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、山頂の北側付近を震源とする地震が若干多い状況となりましたが、その後地震活動は収まっています。
- ・地殻変動に特段の変化は認められません。
- ・女岳^{めだけ}では、2009年から2010年12月にかけて地熱域の拡大が認められています。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・噴気活動はやや高い状態が続いています。
- ・2011年3月12日以降、大穴火口では、夜間に高感度カメラで明るく見える現象がたびたび確認されました。

- ・火山性地震は2010年11月中旬～12月を除きやや多い状況となっています。
- ・GPS連続観測による地殻変動観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、湯釜の北から北西側の1～2km付近を震源とする地震が一時的にやや増加しましたが、その後地震活動は収まりました。
- ・5月27日午前零時過ぎに火山性微動が発生し、傾斜計にも火山性微動に対応した変化が観測されています。その後、火山性地震も一時的に増加しています。6月6日にも湯釜付近を震源とする火山性地震が増加しましたが、火山性微動は観測されず、傾斜計に特段の変化はありません。湯釜の状況に変化は認められていません。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、3月12日と18日に山頂火口の南および南東で火山性地震がややまとまって発生しました。また、4月19日には、山頂火口の南東を震源とするマグニチュード1.7(暫定値)の地震により、軽井沢町追分で震度1を観測しました。それ以外の期間は火山性地震はやや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降はやや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。

- ・ 火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。
- ⑤ 新潟焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑥ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、山頂直下から北麓～北西麓の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑦ 乗鞍岳 [噴火予報(平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、乗鞍岳北部で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑧ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 白山 [噴火予報(平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、地震活動がやや活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震(マグニチュード6.4(暫定値)、最大震度6強)が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・ 山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、2008年8月頃からみられた地下深部の膨張傾向を示すと考えられる伸びの変化は、2010年初め頃から鈍化し、現在は全ての基線で停滞あるいは縮みがみられます。
 - ・ その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
- ⑪ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、中央火口丘群およびカルデラ北部の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑫ 伊豆東部火山群 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]
- ・ 東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、大室山の北から北西、および東南東15km

付近で地震活動がやや活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑬ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、3月中旬から下旬にかけて島の北部および西部を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・GPSおよび体積ひずみ計による地殻変動観測では、2010年5月下旬から伸びがみられましたが、その傾向は9月頃から鈍化し、2011年1月から縮みの傾向がみられます。長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 新島 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、周辺で地震活動がやや活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑮ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(3月11日)以降、周辺で地震活動がやや活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄放出量は緩やかな減少傾向ですが、1日あたり500から1500トン程度のやや多量の放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑰ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑱ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・地震活動は2010年8月頃から比較的活発になっています。2006年8月からの島全体

が隆起する地殻変動は、2011年1月末頃から隆起速度が増加し、現在も続いています。島内南北方向の伸びの傾向も継続しています。

- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑳ 福徳岡ノ場 [噴火警報 (周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報 (平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震 (3月11日)以降、鶴見岳・伽藍岳周辺を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その後、地震活動は収まっています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報 (噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震 (3月11日)以降、山体及び北西側の筋湯付近を震源とする地震が一時的に増加しましたが、その後、地震活動は収まっています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)] ←平成23年5月16日に火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制) を発表し、噴火警戒レベルを1 (平常) から2 (火口周辺規制) に上げました。

- ・中岳第一火口では5月15日と16日にごく小規模な噴火が発生し、その後もごく小規模な噴火が継続しています。
- ・1月初旬に5割であった湯だまり量は、2月以降5月までは1～2割に減少しました。
- ・5月13日12時頃から阿蘇火山博物館の火口カメラで、火口内にとどまる程度のごく少量の火山灰の噴出が時々確認され、14日以降は、噴気孔の一部において、ごく弱い火炎現象が夜間に時々確認されました。
- ・5月15日午前が発生したごく小規模な噴火では、中岳第一火口の北東約2kmの仙酔峡でごく少量の降灰を確認しました。また、同日に行った現地調査では、火口底の温度が約370℃ (赤外放射温度計による) と高温でした。
- ・5月16日午前が発生した噴火では、灰白色の噴煙が火口縁上500mまで上がりました。同日午前に行った現地調査では、中岳第一火口底中央部から灰白色の噴煙が噴出し、火口縁でごく少量の降灰を確認しました。
- ・4月20日に孤立型微動が一時的に増加しました。また、4月22日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が1回発生し、5月3～10日にかけて振幅の小さな火山性連続微動が発生しました。火山性地震は少ない状態で経過しました。二酸化硫黄放出量は、1日あたり200～500トンで経過していましたが、4月20日には1,000トン、5月9日には600トン、5月20日には800トンとわずかに増加しました。
- ・4月20日に実施した全磁力繰り返し観測では、火口直下の温度上昇を示唆する変化が認められました。
- ・以上のように中岳第一火口の火山活動は高まっていると考えられ、中岳第一火口か

ら概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

- また、南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

④ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←平成23年2月1日及び3月22日に火口周辺警報を発表し、警報事項を切り替え（噴火警戒レベル3（入山規制）は継続）しました。

- 霧島山（新燃岳）では、1月26日から本格的なマグマ噴火が始まり、多量の火山灰等を放出する噴火活動があり、火口内に溶岩が噴出、爆発的な噴火が繰り返されました。
- 2月11日以降、爆発的噴火を含む小規模な噴火が間欠的に発生していますが、噴火の規模や頻度は低くなってきており、4月18日を最後に噴火は発生していません。また、爆発的噴火は期間中4回発生しましたが、3月1日を最後に発生していません。
- 4月3日の噴火では、火口縁上3,000mまで上がった噴煙が東に流れ、降灰は宮崎市や日南市まで達しました。4月18日の噴火では、大きな噴石が新燃岳火口の西から北方向にかけて約1 km飛散し、火口縁上2,000mまで上がった噴煙が南東へ流れ、新燃岳火口から約9 kmの高原町では、直径約2 cmの小さな噴石（火山れき）が降下し、民家の太陽熱温水器や太陽電池パネルを破損するとともに、降灰は宮崎市や日南市まで達しました。
- 傾斜観測では、噴火の数時間～5日前に新燃岳がわずかに膨張し、噴火に伴い収縮して元に戻る、間欠的なマグマの動きによると推定される変化が見られましたが、傾斜変化を伴わず噴火が発生する場合や、傾斜変化が認められても噴火が発生せずに元に戻る事例もありました。
- 最盛期は1万トン以上であった1日あたりの二酸化硫黄の放出量は、概ね1000トン未満で少ない状態でした。
- GPS観測によると、1月26日から2月1日の本格的なマグマ噴火に対応して急激に収縮した新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりは、再び緩やかな膨張に転じています。
- 新燃岳周辺の地震活動には、顕著な変化は認められません。
- 以上のように、新燃岳の噴火活動は1月下旬から2月上旬までの最盛期に比べて次第に低下してきており、4月下旬以降噴火も発生していません。また、新燃岳へのマグマの上昇も低下していると推定されます。しかし、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給は続いています。今後、マグマだまりから新燃岳へ大量にマグマが上昇するようなことがあれば噴火活動が再び活発化すると考えられますので、各種データの変化を慎重に見極めていく必要があります。
- 引き続き、新燃岳付近では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。
- 噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。

- ・ 降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

- ・ 昭和火口の噴火の発生回数は2月～5月10日までに345回であり、噴火活動は2011年以降も活発な状態で経過しました。
- ・ 2月19日と4月30日の噴火では火砕流が発生し、昭和火口からそれぞれ南東へ約500m、東へ約800m流下しました。
- ・ 2011年1～3月に、噴火により放出された火山灰量は127万トンと、2010年10～12月の57万トンと比べると増加しました。
- ・ GPSや水管傾斜計等による地殻変動観測には大きな変化はありません。火山灰の放出量と地殻変動量から、2010年11月頃よりマグマの供給量は増加した状態を保っています。
- ・ GPSによる地殻変動観測では始良カルデラ深部(鹿児島湾奥部)の膨張による長期的な変化が引き続き観測されています。
- ・ 桜島へのマグマの供給量が増加した場合、更に噴火活動が活発化する可能性が考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・ 以上のように、桜島では引き続き活発な火山活動が継続しますので、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 火山性地震は少ない状態で経過しました。
- ・ 白色の噴煙の高度は火口縁上概ね200m以下(最高高度は500m)で経過しました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

⑧ 口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山性微動はやや増加しており、GPS連続観測では、新岳を挟む基線で2010年9月ごろから緩やかな伸びの傾向が続いています。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生し、噴火活動は活発な状態で経過しました。
- ・ 2月上旬からのA型地震活動(有感地震を含む)は終息しましたが、A型以外の火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成23年6月7日現在、29火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	天頂山	噴火予報 (平常)	2011年6月7日 噴火予報 (平常)
	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雄阿寒岳	噴火予報 (平常)	2011年6月7日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	丸山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
東北地方	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	秋田焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)	

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
			2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
			2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	神津島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)
			2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	青ヶ島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
			2011年5月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
			2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
			2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常)
			2010年3月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
			2010年4月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
2010年5月6日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)			
2011年1月26日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)			
2011年1月31日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替			
2011年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替			
2011年3月22日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替			
霧島山 (御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)	
桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	
		2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	
		2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	
		2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	
		2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	
		2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	
		2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	
		2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	
		2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	
		2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	
2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替			
2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)			
2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)			
2010年9月30日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)			
2010年10月13日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)			
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

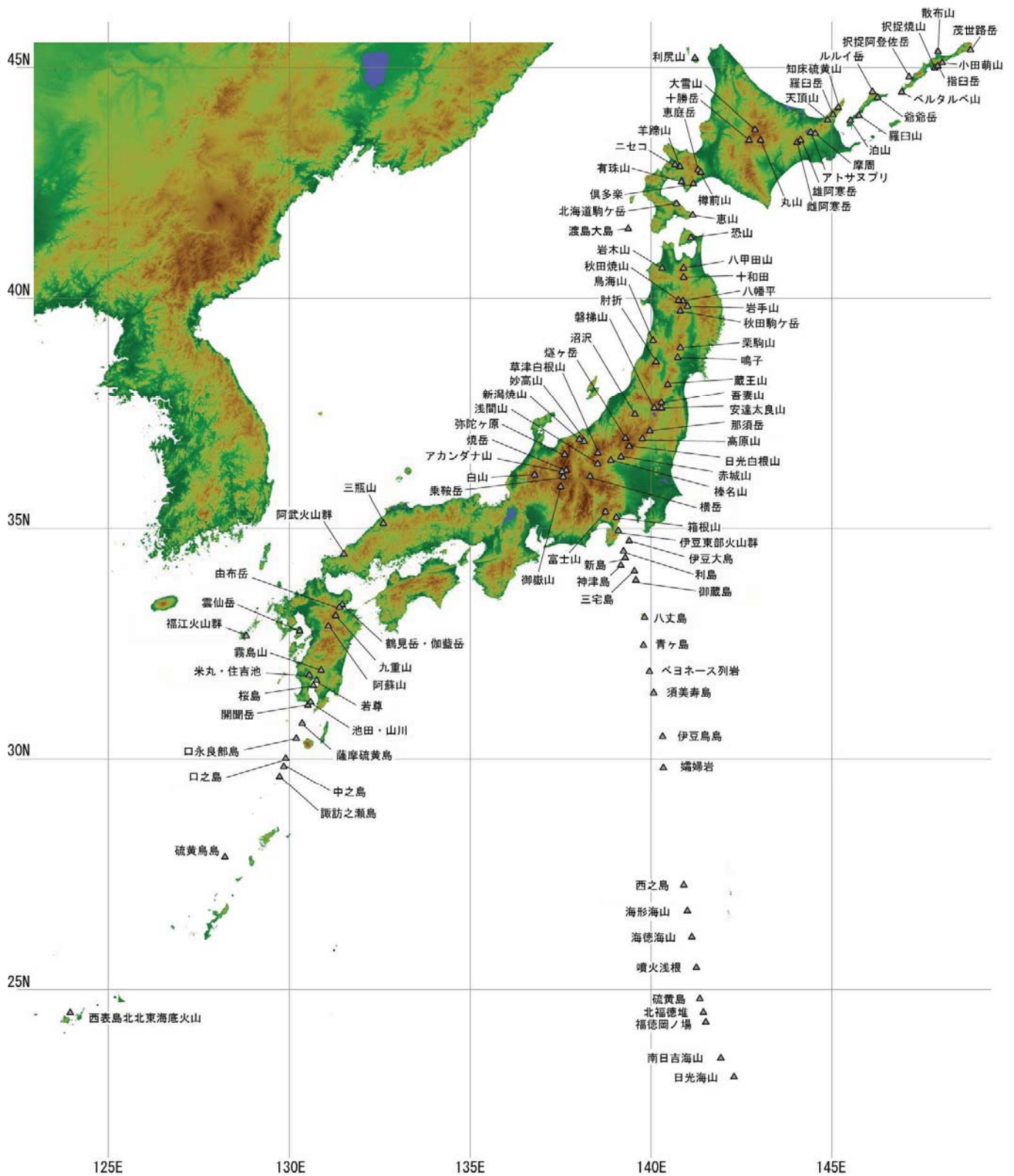


図 全国の活火山分布